



平成25年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月12日

上場会社名 小林産業株式会社 上場取引所 大
コード番号 8077 URL <http://www.kobayashi-metals.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野竿俊規
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 檜垣俊行 (TEL) 06-6535-3690
四半期報告書提出予定日 平成25年6月13日 配当支払開始予定日 平成25年7月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第2四半期の連結業績(平成24年11月1日～平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第2四半期	9,802	8.1	281	13.5	495	33.4	262	35.3
24年10月期第2四半期	9,069	9.3	247	△22.9	371	△11.4	194	189.0

(注) 包括利益 25年10月期第2四半期 2,325百万円(223.0%) 24年10月期第2四半期 720百万円(23.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第2四半期	9.42	—
24年10月期第2四半期	6.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年10月期第2四半期	20,769	10,215	48.8
24年10月期	17,273	7,959	45.8

(参考) 自己資本 25年10月期第2四半期 10,127百万円 24年10月期 7,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年10月期	—	2.50	—	—	—
25年10月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,900	8.3	550	13.4	850	26.1	490	36.5	17.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年10月期 2 Q	28,007,448株	24年10月期	28,007,448株
② 期末自己株式数	25年10月期 2 Q	130,979株	24年10月期	130,979株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年10月期 2 Q	27,876,469株	24年10月期 2 Q	27,876,469株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が下支えするなか、政府の経済対策に対する期待感から、円安の進行や株価の上昇が進み、一部の企業収益環境に改善の兆しが出てまいりました。欧州や中国の経済減速など不安材料を残しつつも、国内の実体経済の回復に向けて、景気回復の期待が一層高まりました。

当社グループが関連いたします建設業界におきましては、震災復興関連や防災関連の公共事業を中心として需要があったほか、個人住宅や首都圏におけるビル着工件数等の建築需要も堅調でありましたが、機械設備における需要停滞が根強く、民間設備投資は総じて回復に力強さを欠いた状態で推移いたしました。

このような状況の下で鋳螺部門では、商品の原材料価格がこの数年と比べて比較的安定していたことから、得意とする主力商品の販売活動を精力的に展開いたしました。さらに商品供給力の向上を目的に、在庫商品の拡充と新規アイテムの取扱拡大を今年度も引き続き取り組んだほか、新規顧客獲得にも積極的に取り組みました。また、品質管理体制の強化として各営業拠点で対応できる仕組みを作り、安全と安心を提供できる体制を整備いたしました。これらの取り組みの結果、当部門の売上高は8,655百万円となりました。

次にコンクリート二次製品関連金物部門では、東日本大震災の復興工事が本格化しはじめたほか、風水害による復旧工事や河川改修などの土木分野の案件が増加したため、P C工法関連金物を中心に売上が拡大いたしました。また、建築分野などの他分野をはじめとする新規顧客の獲得についても、一定の成果を残すことができました。これらの取り組みの結果、当部門の売上高は1,147百万円となりました。

また、当社グループは工具販売を強化するため、前連結会計年度より中正機械株式会社を設立し営業を開始しておりますが、当連結会計年度も引き続いて、前身の会社で取引のあった仕入先・得意先の信頼回復と新規顧客開拓に鋭意取り組みました。また、当社グループの他部門において工具販売の売上高が増加し、協業によるシナジー効果が徐々に現れてきました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、9,802百万円で、前年同四半期比733百万円、8.1%の増加となりました。営業利益は281百万円で、前年同四半期比33百万円、13.5%の増加となりました。経常利益は、495百万円で、前年同四半期比124百万円、33.4%の増加となりました。第2四半期純利益は、262百万円で、前年同四半期比68百万円、35.3%の増加となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動状況について

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて427百万円増加し11,143百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が141百万円増加および商品が391百万円増加したことに対し、現金及び預金が239百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて3,068百万円増加し9,626百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が3,073百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて196百万円増加し8,568百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が234百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて1,044百万円増加し1,985百万円となりました。この主な要因は、繰延税金負債が1,055百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて2,255百万円増加し10,215百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が193百万円増加およびその他有価証券評価差額金が2,005百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況について

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローに係る支出321百万円、投資活動によるキャッシュ・フローに係る支出43百万円、財務活動によるキャッシュ・フローに係る収入112百万円となったこと等により、前連結会計期間末と比べ239百万円減少し、1,470百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、321百万円（前年同四半期は158百万円の資金の獲得）となりました。前年同四半期と比べ479百万円減少しております。主な要因は、税金等調整前四半期純利益495百万円に対し、売上債権の増加129百万円、たな卸資産の増加391百万円および法人税等の支払額303百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、43百万円（前年同四半期は6百万円の資金の使用）となりました。前年同四半期と比べ36百万円減少しております。主な要因は、有形固定資産の取得による支出20百万円および無形固定資産の取得による支出23百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、112百万円（前年同四半期は230百万円の資金の獲得）となりました。前年同四半期と比べ117百万円減少しております。主な要因は、短期借入金の純増減額182百万円に対し、配当金の支払額69百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、平成25年10月期の業績予想を修正（平成25年6月5日公表）いたしました。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年11月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,710,189	1,470,385
受取手形及び売掛金	6,759,037	6,900,713
商品	2,134,955	2,526,534
その他	124,896	259,327
貸倒引当金	△13,618	△13,606
流動資産合計	10,715,460	11,143,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	813,057	790,226
機械装置及び運搬具（純額）	62,242	64,297
土地	2,241,810	2,241,810
その他（純額）	73,740	71,124
有形固定資産合計	3,190,850	3,167,459
無形固定資産	63,169	83,653
投資その他の資産		
投資有価証券	3,189,383	6,262,892
破産更生債権等	9,660	5,450
その他	114,414	112,274
貸倒引当金	△9,660	△5,450
投資その他の資産合計	3,303,798	6,375,167
固定資産合計	6,557,818	9,626,279
資産合計	17,273,278	20,769,634
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,605,902	3,840,106
短期借入金	3,976,599	4,159,000
未払法人税等	298,932	218,158
賞与引当金	139,304	138,229
その他	351,186	212,706
流動負債合計	8,371,925	8,568,200
固定負債		
繰延税金負債	679,846	1,735,341
退職給付引当金	221,654	222,659
長期未払金	38,797	25,467
長期預り保証金	1,180	2,180
固定負債合計	941,478	1,985,647
負債合計	9,313,403	10,553,847

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,712,335	2,712,335
資本剰余金	1,728,146	1,728,146
利益剰余金	2,224,313	2,417,490
自己株式	△24,512	△24,512
株主資本合計	6,640,283	6,833,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,286,959	3,292,555
繰延ヘッジ損益	2,885	13,728
為替換算調整勘定	△21,044	△11,918
その他の包括利益累計額合計	1,268,799	3,294,366
少数株主持分	50,792	87,960
純資産合計	7,959,874	10,215,786
負債純資産合計	17,273,278	20,769,634

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)
売上高	9,069,201	9,802,552
売上原価	7,059,912	7,661,807
売上総利益	2,009,289	2,140,745
販売費及び一般管理費	1,761,613	1,859,695
営業利益	247,675	281,049
営業外収益		
受取利息	513	561
受取配当金	38,371	50,047
受取賃貸料	19,342	17,442
デリバティブ評価益	79,232	95,089
仕入割引	31,078	36,506
為替差益	—	21,343
その他	10,966	13,070
営業外収益合計	179,504	234,061
営業外費用		
支払利息	11,359	11,896
為替差損	38,287	—
その他	6,061	7,499
営業外費用合計	55,707	19,395
経常利益	371,473	495,715
特別利益		
投資有価証券売却益	42,660	—
特別利益合計	42,660	—
特別損失		
投資有価証券評価損	18,450	—
固定資産除却損	100	—
災害による損失	1,260	—
特別損失合計	19,810	—
税金等調整前四半期純利益	394,323	495,715
法人税、住民税及び事業税	203,817	223,187
法人税等調整額	△5,727	8,293
法人税等合計	198,090	231,481
少数株主損益調整前四半期純利益	196,233	264,233
少数株主利益	1,903	1,365
四半期純利益	194,329	262,868

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	196,233	264,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	517,673	2,035,314
繰延ヘッジ損益	1,543	10,843
為替換算調整勘定	4,607	15,210
その他の包括利益合計	523,823	2,061,369
四半期包括利益	720,056	2,325,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	709,352	2,288,434
少数株主に係る四半期包括利益	10,703	37,168

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	394,323	495,715
減価償却費	44,484	46,125
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,823	1,004
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,864	△4,221
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△5,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23,932	△1,075
災害損失	1,260	—
受取利息及び受取配当金	△38,885	△50,608
支払利息	11,359	11,896
有形固定資産除売却損益 (△は益)	100	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△42,660	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	18,450	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△445,694	△129,407
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△338,947	△391,578
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	230,993	△98,788
仕入債務の増減額 (△は減少)	447,701	225,519
デリバティブ評価損益 (△は益)	△79,232	△95,089
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△20,936	△48,925
預り保証金の増減額 (△は減少)	—	1,000
長期未払金の増減額 (△は減少)	△1,720	△13,330
小計	155,620	△56,765
利息及び配当金の受取額	38,866	50,589
利息の支払額	△11,378	△11,889
災害損失の支払額	△1,260	—
法人税等の支払額	△23,807	△303,181
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,041	△321,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	67,718	—
投資有価証券の取得による支出	△11	—
有形固定資産の取得による支出	△46,070	△20,085
無形固定資産の取得による支出	△86	△23,625
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△28,362	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,811	△43,647
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	182,400
配当金の支払額	△69,691	△69,691
財務活動によるキャッシュ・フロー	230,308	112,709
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,724	12,381
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	384,263	△239,803
現金及び現金同等物の期首残高	1,071,330	1,710,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,455,594	1,470,385

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)

当社グループは、鉄鋼材の卸売およびこれに附帯する事業を営む単一事業につき、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)

当社グループは、鉄鋼材の卸売およびこれに附帯する事業を営む単一事業につき、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。